

あいさつ

いつも有朋会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。
 2009年からは大学からの支援体制を強化して頂き、お蔭様で日々の運営体制情報誌「ネアカのびのびへこたれず通信」の創刊、会報やホームページなどの発信拡充などの事業充実化が大幅に進みました。中内理事長、石井学長、事務局をはじめ関係の皆様、心より厚く御礼申し上げます。

一方で、昨今やはりこんな時世ですので、尚更のこと、心休まる仲間存在を身に沁みて感じ、そこで有朋会にできることが未だ沢山あると痛感しております。有朋会の良いところは、旧友に出会うだけでなく、在学当時は知らなかった人とも、新たに出会う関係づくりができていくことです。来て頂きさえすれば、何かしら新しい出会いや刺激を感じて頂ける、そんな会を常に目指したいと考えております。年々、参加者も増えて漸く定着してきたホームカミングデーも、もっと多くの方々に来て頂けるよう、学生サポーターの方々に助け頂ながら、さらなる内容充実を図りたいと思います。ちなみに、学生の方々も社会人のメンバーと同じ目標をもった活動を通じて交流し少しずつでも学んで頂いているようで、その事は我々にとって非常に励みになっています。そうした有朋会ネットワークの強化によって、大学への恩返しができるれば、年が改まるに際して考えております次第です。

従来からのやり方にこだわらず、皆様が気軽に楽しく参加して頂ける、刺激あふれる有朋会にしていきたいと思っておりますので、今年もご指導ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

有朋会会長 岩崎 健治

ネアカのびのびへこたれず通信

Vol.3

有朋会
2010年3月発行

卒パに来てみませんか?

3月19日(金)、神戸ポートピアホテルにて卒業記念パーティが開催されます。
 現在の卒業記念パーティは有朋会主催で行われており『有朋会入会記念パーティ』としまして新卒業生を同窓会員として有朋会へ迎える歓迎の場となっています。
 この日には教職員の方々も会場に参加していますが、毎年卒業生もかけつけて入会記念パーティに参加しています。
 司会は卒業生の大原淳子さん(93年卒)、演目では胡紅侶さん(95年卒)が中国舞踊を披露するなど卒業生の存在感もバッチリ。
 在学生のチャリダーやダンス、和太鼓も見ごたえありの内容です。
 入場は自由ですので懐かしがてら是非おこしください!

開催日時
2010年3月19日(金)
13:00~16:00

開催場所
神戸ポートピアホテル南館1F『大輪田の間』



興味のある方は有朋会事務局までご連絡ください!

RYUKA ニュース

トリスバーガー弁当を開発 (産学連携)



頭師ゼミの学生が立案した姫路のご当地弁当を、駅弁の老舗・まねき食品(株)と協働して開発、姫路駅で1月18日より発売されました。学生チームは姫路の観光地実地調査からスタートし、販売やPR方法まで開発会議を重ね検討。姫路のご当地グルメとして地元で人気の姫路おでんを食材に選定し、おでんダネをライスバーガーにするという斬新な発想で新商品を生み出しました。干支のトラ、挑戦を意味するトライ、ライスバーガーのライスを織り交ぜた「トリスバーガー」というネーミングもユニーク。阪神百貨店「阪神の全国有名駅弁とうまいもまつり」にも出店し、学生も販売に参加しました。

神戸研究学園都市大学ゼミ 対抗企画(産学連携)



神戸研究学園都市3大学が産学連携のビジネスチャンスを提案するプレゼンテーション、「神戸研究学園都市大学ゼミ対抗企画」の最終報告会が12月19日、洋菓子メーカー、モロゾフ株式会社の社長や取締役を審査員に招き本学で行われました。同社の平月の売り上げ拡大を実現する企画をテーマに、新商品の開発やカフェの斬新なデザインなどを提案。予選を通過した9チームが決勝に臨み、神戸芸術工科大学の「プロダクトデザイン学科Cチーム」が総合優勝。本学は高橋一夫ゼミ「RODEO-CROWNS」が発想賞を、碓井将夫ゼミ「碓井ゼミ男子」・高橋ゼミ「チームKAZUO」が特別賞を受賞しました。

支部会 ニュース

台湾支部

台湾出張報告

学生課 西田 順一 (2000年 流通学科卒 林克彦ゼミ)

恒例となる秋の台湾支部同窓会が台北市内で開催されました。

今回は、日本からアジア流通研究センター長 崔相鐵教授、学生課西田も参加しました。提携校の交換留学生達も多数参加してくれました。久しぶり再開をお互いに喜び合っていました。

崔先生の講演を交えた交流でお互いに盛り上がり、「今日が初めての参加ですが、思い切って参加してみよかったです!」との声もあり、この交流会が「皆の心の拠り所」となっているのを肌で感じていたようです。またの再開を約束して大盛況のうちに会を締めくくりました。



中部支部

有朋会中部支部交流会 参加レポート

アジア流通研究センター所属 有朋会担当 垣内智沙

中部支部では、1月31日(日)に交流会を実施しました。

「INAXライブミュージアム」内のレストランにて、同窓生が顔を合わせ、イタリア料理を楽しみながら、思い出話などに花を咲かせました。初対面同士の同窓生も多く、終始賑やかな雰囲気でした。お腹がいっぱいになった後は、「光るどろだんごづくり」に夢中。楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、次回の交流会の計画を立てながら、会は終了しました。中部にお住まいの同窓生のみならず、次回以降の交流会にぜひ参加してみてください。



東日本支部

東京だって Home Coming Day in TOKYO

津田雅世 (1996年 経済情報学科卒 宇恵ゼミ)

12月19日、有朋会東日本支部の初企画「東京だって Home Coming Day in TOKYO」が東京オフィスで開催されました。

参加人数は総勢27名、今回は、奥様やお子様と一緒に参加した同窓生が多かったです。乾杯の後、学年を超えての交流。大学からお借りした卒業アルバムを見ながら「学生の時は、若かったなー、痩せていたなー。懐かしい服装、髪型。」とコメントが飛び交っていました。後でアメフト同窓会グループも加わったの記念写真、楽しい時間を過ごすことができました。まだ、参加したことない方も気軽に来てください!!



異動報告のお願い

姓名、住所、電話番号、勤務先等の変更がありましたら、有朋会事務局までお知らせください。変更手続きは有朋会HP、携帯サイトからでもできるようになっています。

※住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物(会報誌等)が未着となりますので、必ずご連絡ください。よろしくお願いいたします。

皆様の近況をお知らせください!

皆様の近況や一言メッセージをお寄せください。(なるべく写真を添えて100字~600字程度。)今後、情報誌やホームページ上でご紹介していく予定です。有朋会HP、携帯サイトからも送っていただけます。

※ご紹介できない場合もあります。ご了承ください。

「一言メッセージ」を紹介します!

大井 広馬 さん
 2009年 流通学科卒 XRE代表
 地元奈良でWEB制作事業を自営で立ち上げ、今年事務所を構える事ができました。在学中に学んだ事が生きています。

XREのサイト <http://www.xre.jp/>

企画発行元
有朋会事務局

〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番
 TEL:078-796-4397 FAX:078-796-4124
 E-mail:umds_yuho@red.umds.ac.jp

有朋会 HP URL <http://www.yuho-kai.com/>
 大学 HP URL <http://www.umds.ac.jp/>

学生たちよ案ずるな！
みんなで一緒に戦おう！

1月23日、OB・OG就職相談会を開催

来校した同窓生は27名。「社会人1年生」から第3線で活躍している中堅まで、多種多様な業界・職種の情報や経験を手土産に母校へと里帰りしました。相談会は各教室に1〜2名の同窓生が業種や企業ごとにスタンバイし、そこに学生が訪ねていくというスタイル。「考えすぎずに、いろいろな人の話を聞くことが大切。学生にとってこの会は絶対のチャンスですよ」と日本通運の松尾祐介さん（09年卒）が語るように、就職氷河期ともいわれるこのご時世、卒業生と膝を交えての相談会はまたとない機会とあって、寒い日にも

かかわらず就職活動をスタートしたばかりの3年生が多数参加。その熱意は寒波を吹き飛ばす勢いでした。昨年、大丸に就職した松本美保さん（09年卒）が自らの就職活動の体験を語ると、学生から矢継ぎ早に質問が。「積極的な行動とポジティブな考えが大切です」と学生に笑顔でアドバイスしていました。日新信用金庫からは4度目の参加となる秋定友明さん（06年卒）と、一昨年の就職相談会でその秋定さんの話を聞いて昨年就職した亀野愛さん（09年卒）が参加。秋定さんの「今年の学生は少し必死さが足りないよ



うな…」という厳しい評価も母校愛ゆえの金言。

久々の母校に「校舎がステキーこの時期に通学したかったですね」とは大塚商会の竹中千恵さん（02年卒）。「特に女子学生が積極的。希望を叶えてほしいですね」とエールを。「流科大はOBもキャリア開発課も一丸となり、就職戦線を全体で戦う」という気風があります。私もこの流科大らしい取り組みに参加して、母校に恩返しを…」とは、明治製菓の萩原幹也さん（03年卒）。相談会の後はみかんホールで懇親会が。就職活動に不安を感じていた学生たちも、「より近い距離でOB・OGの話が聞け、とってもためになりました。」



昨今の就職の状況は、開学以来最も厳しい状況です。そこで、同窓生の皆様から後輩にご指導いただければ幸いです。各企業の人事担当でご賛同・ご協力頂ける方はぜひご連絡願います。

RYUKA ミニ講座 | 3 生活設計のすすめ

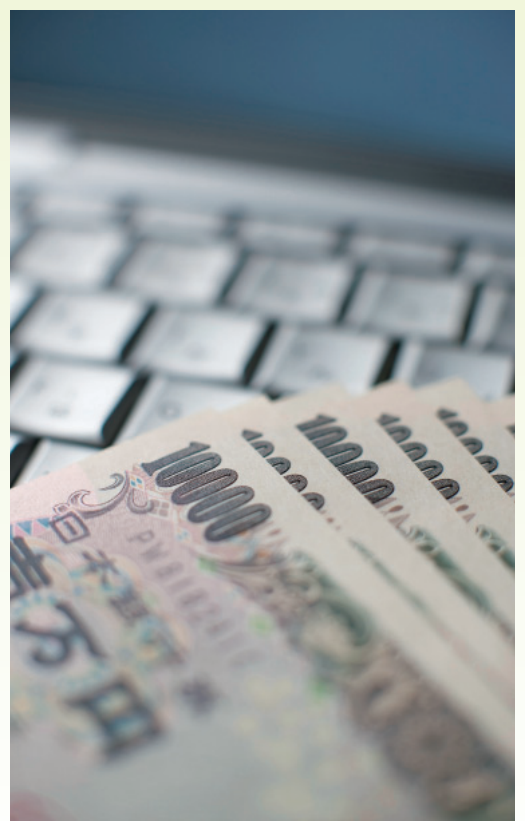
一つの金融商品には一つの目標を

バブル期に、変額保険という生保商品がおおいに売れたことがある。

一般の生命保険では保険料も保険金も、加入までに決められた金額が途中で変更されることはない。確定金額の受取りと支払いこそ、保険会社の重大な任務である。そのためにリスク分散を、ヘッジとした資産運用ルールの遵守が求められる。名目的な「安全性」が長期にわたって維持されねばならない。

この方式のもとで営まれる生命保険にとって最大の弱点はインフレである。生命保険の大半は長期契約であるから、長いあいだにはインフレが起きるかもしれない。その点で保険金の価値がめりする。この弱点を克服するために考案されたのが変額保険である。株式がインフレに強いという性質に着目して、変額保険では運用資産の大半を株式に集中的に投資する。保険金額は定額でなく、保険金支払のときの株価水準に応じてかわる。

日本の生命保険業界は変額保険をインフレのときに導入せずバブル期に売りだした。おりからの地価高騰で相続税が増大し、地主たちには先祖伝来の土地の遺産相続がむずかしくなった。そこで変額保険の登場である。地主たちは、銀行から土地を担保にして融資を受け、一時払い保険料にあてる。期間中に死亡すれば値上がりした株価によって保険金



額はおおきく増えているから、相続税を払い、さらにローンも返せる。こうして保険会社は勧誘した。危険性の説明はなく、ひたすら、収益性が強調され、銀行も販売に関与したという。バブルがはじけると、目論見はずれた。株価は暴落して保険金はめりし、地価もさがって担保割れをおこし、土地を売ってもローンを返せなくなった。加入者にはつちもさつちもいなくなり、結局、多くの訴訟が起こり、そしてその大半で会社側が敗れた。

数年前のミニ・バブルのときには、変額年金が流行した。あぶないなとみてみると、案の定、金融危機をきっかけに株



流通科学大学 図書館長
商学部教授
田村 祐一郎

価がさがり、変額年金はその余波をもろにつけた。保険会社も銀行ももう加入者も、十年かそこらまえの教訓を学ぶことなく、きれいに忘れたのである。

二回目の、変額騒動であるから、こんどこそ教訓を学んで欲しいとおもっ。金融商品には一つの目標をもとめよう。安全であり、同時に高利回りの商品はない。保険には安全な保障を期待し、高収益はべつの商品にもとめる。欲望というメカネをかける世の中がゆがんでみえる。ことわざに「二兎を追うものは一兎をもえず」といってではないか。

卒業してからも受講できます。

1 特別講義の聴講ができるようになりました。
実際に役立つ知識を吸収する場として、仕事に生きる学問を身につける良い機会です。

2 資格取得講座／オープンカレッジの受講料割引制度があります。
お申し込みの際は卒業生である事をお申し出ください。

申込方法等 詳細は大学ホームページをご覧ください。

2010年度前期特別講義

ツーリズム産業経営特講		
5月13日(木)	湯布院温泉観光協会 会長 (湯布院温泉「株」玉の湯)代表取締役社長)	桑野 和泉
5月27日(木)	(財)日本旅行業協会(JATA) 会長 (株)日本旅行 代表取締役会長 兼 執行役員)	金井 耿
6月10日(木)	(株)JALホテルズ 代表取締役社長	千代 勝美

21世紀の業界展望

※予定を変更する場合がございます。(現在交渉中です)
※詳細はホームページをご覧ください。どうぞお楽しみに!

みなさんも特別講義に参加してみませんか? 受講者の感想を紹介します。

田畑 佳代子 (1994年 流通学科卒 白石善章ゼミ)
住友商事株式会社勤務
昨秋仕事が少し落ち着いたこともあり、会報誌でふと目についた「特別講義」に何となく申しこんでみました。
数年ぶりに地下鉄に乗り、駅から大学までの道を懐かしく感じながら学生に混じって歩く。
大学に着くと、学生の頃にはなかった講義棟に迷いながら、教室に入り現役の学生に混じって着席。
仕事では人の講義を聴くという機会は減多に無く、1時間も持つかと心配でしたが、講義が始まると、現役の頃はよく理解出来ずに興味を持てなかった話が今だと面白い! この感覚が楽しくて、その後月1回位のペースで「通学」しました。
気分もリフレッシュ出来て、勉強も出来る一石二鳥な時間の使い方です。



山崎 正人 (2003年 流通学科卒 中内ゼミ)
PHILIP MORRIS JAPAN K.K.
私は、学生時代の志(自分の性格一向上心・好奇心旺盛・積極的な姿勢)を活かし、自分が携わっていた業務のなかの疑問(商品の価格設定・モノの流れ)を大学に行って検証してやろう)を振り返る為に、(株)ローソン代表取締役社長 新浪剛史の講義を受講させて頂きました。
今後のローソンの道筋やどのような取り組みをしているかなど、見えなかった面のお話を聞いたことが大変勉強になりました。
ローソンの斬新な取り組み姿勢と私が故中内先生から頂いた「デフレの大波の中で苦労があるが、雨の日・嵐の日いつまでも続くことはありません」の言葉を胸に、貪欲に仕事に励んでいこうと思います。